



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月30日

上場会社名 兼松エレクトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8096 URL <https://www.kel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 渡辺 亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岡崎 恭弘

TEL 03-5250-6823

四半期報告書提出予定日 2021年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	11,207	5.0	921	15.3	951	4.0	661	7.6
2021年3月期第1四半期	10,674	1.7	798	9.5	914	23.2	615	27.9

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 640百万円 (2.1%) 2021年3月期第1四半期 627百万円 (37.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	23.14	
2021年3月期第1四半期	21.51	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	69,877	55,053	78.7
2021年3月期	75,164	56,415	75.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 55,001百万円 2021年3月期 56,361百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		65.00		70.00	135.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		70.00		70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,500	3.2	5,450	8.8	5,500	7.1	3,700	6.4	129.35
通期	67,000	2.2	11,450	5.3	11,500	4.1	7,700	4.3	269.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	28,633,952 株	2021年3月期	28,633,952 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	28,473 株	2021年3月期	28,039 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	28,605,512 株	2021年3月期1Q	28,597,403 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、国内でのワクチン接種が開始され、一部持ち直しの動きが見られるものの、4月から6月にかけて都市部を中心に緊急事態宣言が発出されるなど、度重なる社会経済活動の制限に伴い、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しました。

国内IT業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による事業活動の制限や企業業績の悪化により、一部業種におけるIT投資抑制が依然として見られました。その一方で、コロナ禍におけるニューノーマルが定着し、ライフスタイルやワークスタイルの変化により企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)は一層加速し、リモートワークなどの戦略的なIT投資に加え、人手不足を背景に業務効率化や自動化を目的としたIT投資は堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループは引き続き、培ってきた技術力をベースとしたインフラ構築ビジネスの展開に加え、ビジネスの基盤である「仮想化」「セキュリティ」「ネットワーク」などのソリューションビジネスおよびお客様のリモートワーク環境の整備などに注力してまいりました。

具体的には、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の一環として堅調な仮想デスクトップ(VDI)環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K(スリーケー)※1を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図りました。また、当社の中長期的な企業成長に向け、顧客基盤や事業領域の拡大・深耕を図ることを目的に、2021年5月にキウウェアソリューションズ株式会社と資本業務提携契約を締結いたしました。

※1 3K(スリーケー)：「KEL Briefing Center (KBC)」、「KEL Custom Cloud (KCC)」、「KEL Managed Service (KMS)」から成るサービスビジネス群

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、112億7百万円、前年同期比5億3千2百万円(前年同期比5.0%増)の増収となりました。営業利益は、9億2千1百万円となり、前年同期比1億2千2百万円(前年同期比15.3%増)の増益、経常利益は、9億5千1百万円となり、前年同期比3千6百万円(前年同期比4.0%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億6千1百万円となり、前年同期比4千6百万円(前年同期比7.6%増)の増益となりました。

#### セグメントの状況

##### (システム事業)

システム事業の売上高は、65億2千3百万円となり、セキュリティ関連事業やネットワーク関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比2億4百万円(前年同期比3.2%増)の増収となりました。

##### (サービス・サポート事業)

サービス・サポート事業の売上高は、46億8千3百万円となり、システム運用ビジネス関連およびクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比3億2千7百万円(前年同期比7.5%増)の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.2%減少し、633億2千4百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が87億2千1百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、65億5千3百万円となりました。これは、投資有価証券が4億7千2百万円増加したことなどによります。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25.1%減少し、122億1千8百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が26億3千万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.5%増加し、26億6百万円となりました。これは、その他の固定負債が1億6千万円増加したことなどによります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、550億5千3百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益6億6千1百万円の計上および配当金20億2百万円の支払いにより、利益剰余金が13億4千万円減少したことなどによります。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.0%から78.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年4月28日に公表した業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,877,658	47,556,362
受取手形及び売掛金	16,218,110	7,497,090
リース投資資産	9,251	7,930
棚卸資産	1,997,085	3,663,740
その他	3,878,972	4,598,879
流動資産合計	68,981,078	63,324,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,098,688	1,129,444
その他(純額)	962,834	1,119,791
有形固定資産合計	2,061,523	2,249,235
無形固定資産		
その他	843,991	842,688
無形固定資産合計	843,991	842,688
投資その他の資産		
投資有価証券	913,538	1,385,696
繰延税金資産	1,342,731	1,047,196
その他	1,029,677	1,036,663
貸倒引当金	△7,644	△7,644
投資その他の資産合計	3,278,303	3,461,912
固定資産合計	6,183,817	6,553,836
資産合計	75,164,896	69,877,841

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,732,807	5,102,674
未払法人税等	1,829,831	49,238
前受収益	3,224,808	—
契約負債	—	3,977,017
賞与引当金	1,125,714	450,707
役員賞与引当金	142,700	32,233
その他	2,247,526	2,606,783
流動負債合計	16,303,388	12,218,655
固定負債		
退職給付に係る負債	1,837,932	1,842,570
資産除去債務	589,330	584,430
その他	18,867	179,066
固定負債合計	2,446,130	2,606,067
負債合計	18,749,518	14,824,722
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,031,257	9,031,257
資本剰余金	7,138,453	7,138,453
利益剰余金	39,802,387	38,461,887
自己株式	△26,170	△26,578
株主資本合計	55,945,928	54,605,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220,455	214,952
繰延ヘッジ損益	△15	△129
為替換算調整勘定	79,125	83,984
退職給付に係る調整累計額	115,552	98,133
その他の包括利益累計額合計	415,116	396,941
非支配株主持分	54,332	51,156
純資産合計	56,415,378	55,053,118
負債純資産合計	75,164,896	69,877,841

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	10,674,357	11,207,116
売上原価	7,910,615	8,211,809
売上総利益	2,763,742	2,995,306
販売費及び一般管理費	1,964,848	2,074,022
営業利益	798,894	921,284
営業外収益		
受取利息	1,397	1,270
受取配当金	9,590	12,720
受取保険金	100,000	—
助成金収入	—	15,866
雑収入	5,764	1,511
営業外収益合計	116,751	31,369
営業外費用		
支払利息	39	0
雑支出	631	1,273
営業外費用合計	671	1,273
経常利益	914,974	951,380
特別利益		
固定資産売却益	—	871
特別利益合計	—	871
特別損失		
固定資産除却損	0	1,653
特別損失合計	0	1,653
税金等調整前四半期純利益	914,974	950,599
法人税、住民税及び事業税	△9,214	△15,333
法人税等調整額	308,580	305,686
法人税等合計	299,366	290,352
四半期純利益	615,608	660,246
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	344	△1,667
親会社株主に帰属する四半期純利益	615,263	661,913



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	615,608	660,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,944	△5,502
繰延ヘッジ損益	347	△113
為替換算調整勘定	2,282	3,351
退職給付に係る調整額	△5,896	△17,418
その他の包括利益合計	11,677	△19,683
四半期包括利益	627,286	640,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	624,639	643,738
非支配株主に係る四半期包括利益	2,646	△3,175

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受収益」は、当第1四半期連結会計期間より「契約負債」として表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	6,319,104	4,355,253	10,674,357
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,439	65,748	81,187
計	6,334,543	4,421,001	10,755,544
セグメント利益	112,222	677,782	790,005

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	790,005
セグメント間取引消去	8,889
四半期連結損益計算書の営業利益	798,894

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	6,523,913	4,683,202	11,207,116
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,116	69,297	89,413
計	6,544,029	4,752,500	11,296,529
セグメント利益	53,667	832,452	886,119

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	886,119
セグメント間取引消去	35,164
四半期連結損益計算書の営業利益	921,284

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

## 2022年3月期 第1四半期 連結決算ハイライト (日本基準)

### ■売上高、営業利益、経常利益ともに増収増益。

	2022/3期 第1四半期	2021/3期 第1四半期	前年同期比	増減率(%)	2022/3期 通期 業績予想	進捗率(%)
◇売上高	11,207 百万円	10,674	532	5.0 %	67,000	16.7
◇営業利益	921 百万円	798	122	15.3 %	11,450	8.0
◇経常利益	951 百万円	914	36	4.0 %	11,500	8.3
◇親会社株主に帰属する四半期純利益	661 百万円	615	46	7.6 %	7,700	8.6

(%表示は対前年同四半期増減率)

損益の状況						
(単位: 百万円)	2022/3期 第1四半期	2021/3期 第1四半期	前年同期比	増減率(%)	2022/3期 通期 業績予想	進捗率(%)
売上高	11,207	10,674	532	5.0	67,000	16.7
売上総利益	2,995	2,763	231	8.4	-	-
販売費及び一般管理費	△ 2,074	△ 1,964	△ 109	5.6	-	-
営業利益	921	798	122	15.3	11,450	8.0
営業外収益	31	116	△ 85	△ 73.1	-	-
営業外費用	△ 1	△ 0	△ 0	89.7	-	-
経常利益	951	914	36	4.0	11,500	8.3
特別利益	0	0	0	-	-	-
特別損失	△ 1	△ 0	△ 1	-	-	-
税金等調整前四半期純利益	950	914	35	3.9	-	-
法人税等	△ 290	△ 299	9	△ 3.0	-	-
四半期純利益	660	615	44	7.3	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	661	615	46	7.6	7,700	8.6

■売上高  
売上高は、112億7百万円となり、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の一環として堅調な仮想デスクトップ (VDI) 環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K(スリーケー)※1を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図ったことで、前年同期比5億3千2百万円(前年同期比5.0%増)の増収。

■利益  
営業利益は、9億2千1百万円となり、前年同期比1億2千2百万円(前年同期比15.3%増)の増益。経常利益は、9億5千1百万円となり、前年同期比3千6百万円(前年同期比4.0%増)の増益。親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億6千1百万円となり、前年同期比4千6百万円(前年同期比7.6%増)の増益。

※1 3K(スリーケー): 「KEL Briefing Center (KBC)」、 「KEL Custom Cloud (KCC)」、 「KEL Managed Service (KMS)」から成るサービスビジネス群

1株当たり四半期純利益 (円)	23.14	21.51	1.63	7.6
-----------------	-------	-------	------	-----

セグメント情報						
(単位: 百万円)	売上高			セグメント利益		
	2022/3期 第1四半期	2021/3期 第1四半期	前年同期比	2022/3期 第1四半期	2021/3期 第1四半期	前年同期比
システム事業	6,544	6,334	209	53	112	△ 58
サービス・サポート事業	4,752	4,421	331	832	677	154
計	11,296	10,755	540	886	790	96
その他(含む調整額)	△ 89	△ 81	△ 8	35	8	26
合計	11,207	10,674	532	921	798	122

■システム事業  
セキュリティ関連事業やネットワーク関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比2億9百万円の増収。

■サービス・サポート事業  
システム運用ビジネス関連およびクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比3億3千1百万円の増収。

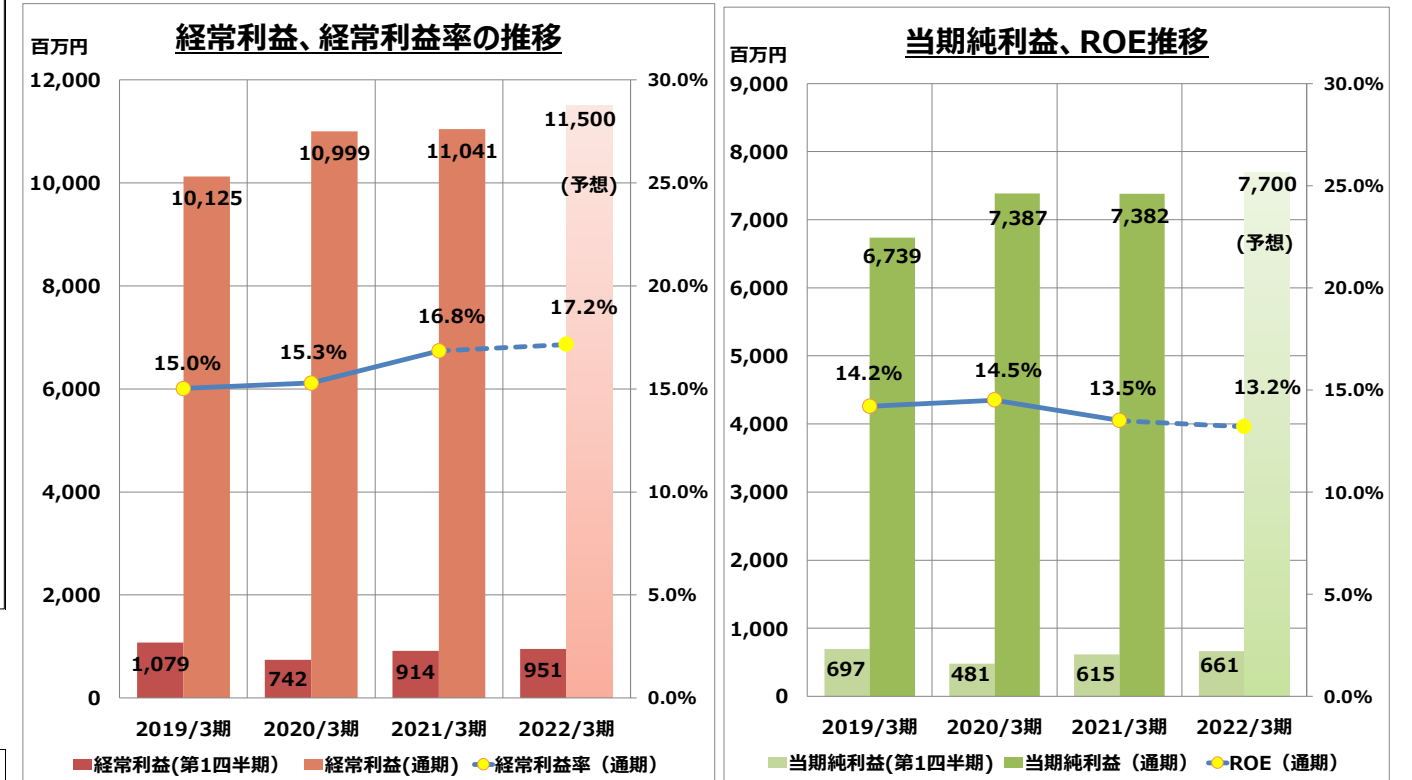
資産・負債及び純資産の状況				
(単位: 百万円)	2021/6末	2021/3末	前期末比	増減率(%)
総資産	69,877	75,164	△ 5,287	△ 7.0
流動資産	63,324	68,981	△ 5,657	△ 8.2
固定資産	6,553	6,183	370	6.0
負債	14,824	18,749	△ 3,924	△ 20.9
流動負債	12,218	16,303	△ 4,084	△ 25.1
固定負債	2,606	2,446	159	6.5
純資産	55,053	56,415	△ 1,362	△ 2.4
自己資本 (注1)	55,001	56,361	△ 1,359	△ 2.4
自己資本比率 (注2)	78.7%	75.0%	3.7pt改善	-

■資産  
流動資産は、受取手形及び売掛金が87億2千1百万円減少したことなどにより、前期末比56億5千7百万円(前期末比8.2%減)の減少。固定資産は、投資有価証券が4億7千2百万円増加したことなどにより、前期末比3億7千万円(前期末比6.0%増)の増加。

■負債  
流動負債は、支払手形及び買掛金が26億3千万円減少したことなどにより、前期末比40億8千4百万円(前期末比25.1%減)の減少。固定負債は、その他の固定負債が1億6千万円増加したことなどにより、前期末比1億5千9百万円(前期末比6.5%増)の増加。

■純資産  
純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益6億6千1百万円の計上による増加と、配当金20億2百万円の支払いによる減少などがあり、前期末比13億6千2百万円(前期末比2.4%減)の減少。なお、自己資本比率は78.7%となり、前期末比3.7ptの改善。

(注1)自己資本=純資産の「株主資本合計」+「その他の包括利益累計額合計」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産



配当の状況				
	2022/3期	2021/3期	2020/3期	2019/3期
中間配当	70円 (予想)	65円	65円	55円
期末配当	70円 (予想)	70円	70円	70円
年間配当	140円 (予想)	135円	135円	125円
自己資本 (百万円)	-	56,361	52,863	49,369
配当性向 (%)	52.0 (予想)	52.3	52.3	53.0

\*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。